平成２７年度

事業報告書

平成２７年　４月　１日から
平成２８年　３月３１日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目　　次

（平成２７年度事業報告書）

Ⅰ．公益目的事業

１．　展示事業　・・・　１ページ

２．　教育普及事業　・・・　５ページ

３．　資料収集・調査・整理・保管事業　・・・　９ページ

４．　置賜文化ホール自主事業　・・・　１１ページ

５．　米沢市座の文化伝承館自主事業　・・・　１４ページ

６．　芸術文化活動のための施設貸与事業（米沢市座の文化伝承館）　・・・　１５ページ

７．　伝国の杜サポーター運営事業　・・・　１５ページ

Ⅱ．収益等事業１

ミュージアムショップ事業　・・・　１６ページ

Ⅲ．収益等事業２

施設貸与事業　・・・　１６ページ

Ⅳ．収益等事業３

伝国の杜ファンクラブ事業　・・・　１７ページ

Ⅴ．管理部門

管理部門　・・・　１７ページ

Ⅰ　公益目的事業
地域における歴史・芸術文化の振興を図るための事業

１．展示事業

（１）企画展示

米沢市上杉博物館企画展示室において年間６本の企画展を開催した。また、利用者が展覧会の理解をより深められるよう講演会、ギャラリートークを適宜実施した。平成２８年度以降に開催予定の企画展の準備も進めた。

①特別展「国持大名上杉家」

会　　期：平成２７年　４月１８日（土）～　６月２１日（日）

開催日数：５９日間

入場者数：１４，８１３名

江戸幕府は大名を支配・統制していくに当たって、領知高や官位などの様々な基準によって家格を定めていた。上杉家は３０万石、１５万石の時代を通して一国規模の領知を持つ大大名である国持大名に位置付けられ、官位のほか、幕府が大名に認めた特権、婚姻関係などにも反映された。これらを具体的に提示することで、江戸時代の米沢藩上杉家の社会的地位、家格を紹介した。

②コレクション展「悲喜交々のアート　まなざしの共有」

会　　期：平成２７年　６月２７日（土）～　７月２０日（月・祝）

開館日数：２４日間

入場者数：３，６９２名

館蔵の近現代美術作品の中から「喜怒哀楽」などの感情表現をキーワードに作品を選定し、構成した展覧会。作品に込められた作者の感情に寄り添いながら、鑑賞者の感情移入という視点からも作品鑑賞の一つのあり方、楽しみを提案した。また、郷土ゆかりの作家の多様な作品に触れていただく機会とした。

③企画展「戦後７０年・昭和９０年～忘れてはいけないこと～山本高樹
昭和幻風景　ジオラマ展」

会　　期：平成２７年　７月２５日（土）～　９月　６日（日）

開催日数：４３日間

入場者数：１１，３８５名

戦後７０年、昭和９０年を迎えた平成２７年（２０１５）。戦中・戦後の日本の記憶が薄れつつある中、報道写真や国内の地上戦の記録、米沢を撮影した写真などから当時の記憶を掘り起こし、戦後７０年の意味を問いかけた。

また、昭和３０年代の日本の暮らしや人々のつながりを山本高樹氏のジオラマ作品を通して紹介し、現在までの暮らしをつないでくれた過去の人々へ思いを馳せる機会とした。市内在住のジオラマ作家中村隆行氏の作品も好評を博した。

④特別展「米沢藩医家の系譜～堀内家文書を中心に～」

会　　期：平成２７年　９月１９日（土）～１１月２３日（月・祝）

開催日数：５９日間

入場者数：１８，９０４名

米沢藩の歴史や、上杉鷹山の取り組みを医学面から紹介した展覧会で、当館としては初めて取り上げた分野であったため、予想以上の入館者を得ることができた。

堀内忠明の子素堂（忠寛、忠龍）は、ドイツ人医師フーフェラントの小児科書をサクセがオランダ語に翻訳したものを漢訳し、『幼幼精義』として刊行した。これは当時の小児科医療に大きく貢献するものだった。展覧会では、堀内家同様、医学の発展に貢献した米沢藩の医家についても紹介し、江戸時代の我が藩の医学の実態に迫った。

⑤企画展「生誕１００年　浜田浜雄展　造形の遊戯場」

会　　期：平成２７年１２月　５日（土）～　１月２４日（日）

開催日数：３９日間

入場者数：２，０２８名

米沢市出身の画家・デザイナーとして活動した浜田浜雄の生誕１００年を記念して開催。

シュルレアリスムに傾倒した戦前の作品を中心に紹介した平成１８年の展覧会では十分に取り上げることができなかった浜田のアトリエやデザイン、写真、ドローイングまで、幅広い造形世界を網羅的に紹介した。また、アトリエ内部の再現とともにアトリエ模型を展示し、浜田浜雄の魅力をさまざまな角度から味わってもらうことができた。

⑥企画展「上杉家の古写真　－伯爵の暮らしと米沢－」

会　　期：平成２８年　２月　６日（土）～　３月２１日（月・祝）

開催日数：３９日間

入場者数：５，９８７名

上杉家所有の１，０００点以上の古写真のうち、平成２７年度に整理・調査した成果を紹介した。古いものでは幕末期の武士や明治初期の天皇や元勲の肖像があり、初期写真として貴重である。また歴代当主とその家族をはじめ、上杉茂憲による明治５年の英国留学と明治１４年からの沖縄県令関係、上杉憲章の妻・房子（公爵鷹司家出身）の華麗な女学校時代、上杉家伝来の宝物類、明治期から昭和初期の米沢の人と建物の写真など約２５０点を展示した。

沖縄の首里城関係の名刺判写真が展示開始時にテレビニュースで紹介されたことが、来館者の増加につながった。

⑦次年度以降の展覧会の準備に関すること

平成２８年度以降の展覧会に備え、下記の準備を行った。

◇平成２８年度特別展「上杉景勝」の展示資料調査

◇平成２８年度特別展「伊達氏と上杉氏」の資料調査、借用交渉、講演等依頼

◇平成２８年度企画展「生誕１２０年　椿貞雄展」借用交渉、打合せ

◇平成２８年度企画展「時間旅行展　ＴＩＭＥ！ＴＩＭＥ！ＴＩＭＥ！」打合せ
◇平成２９年度特別展「戦国時代展」の資料調査、借用交渉、打合せ
◇平成２９年度特別展「上杉の名刀と三五腰」（仮題）資料調査、打合せ

（２）常設展示

米沢市上杉博物館常設展示室の運営を適切に行った。

同展示室内の上杉文華館では、「国宝『上杉家文書』にみる幕末の米沢藩」を年間テーマに、国宝「上杉家文書」を中心とした資料から幕末の米沢藩を１２の小テーマで紹介した。

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」は春（４月１８日（土）～５月１７日（日））と、夏（８月１日（土）～８月３１日（月））に原本を展示した。

入場者数：７１，２３１人

◇上杉文華館スケジュール

①	３月３１日（火）～	４月２７日（月）	「上杉鷹山亡き後は…」
②	４月２８日（火）～	５月２６日（火）	「天保の飢饉」
③	５月２８日（木）～	６月２３日（火）	「歌詠む心」
④	６月２５日（木）～	７月２１日（火）	「１２代藩主上杉斉憲」
⑤	７月２３日（木）～	８月２５日（火）	「軍制改革」
⑥	８月２７日（木）～	９月２３日（水・祝）	「文久三年、京都へ」
⑦	９月２５日（金）～	１０月２７日（火）	「京都を守る」
⑧	１０月２９日（木）～	１１月２４日（火）	「幕府と朝廷の間で」
⑨	１１月２６日（木）～	１２月２０日（日）	「幕府の要請」
⑩	１２月２２日（火）～	１月２４日（日）	「戊辰戦争と奥羽越列藩同盟」
⑪	１月２６日（火）～	２月２８日（日）	「戊辰戦争の終結」
⑫	３月　１日（火）～	３月２７日（日）	「明治政府のもとで」

（３）その他の展示

①常設展示室「前田慶次特設コーナー」およびモールパネル展示

平成２７年　４月１４日（火）～　８月２５日（火）

平成２７年４月９日より１１回にわたりＮＨＫ木曜時代劇「かぶき者慶次」が放映されたのを機に、常設展示室の資料展示およびモールのパネル展示によって、謎多い慶次と米沢とのゆかりを知ってもらう機会とした。

②刀剣の特別展示について

平成２７年　９月　１日（火）～１０月２７日（火）　短刀　銘　吉光（号五虎退）
９月２５日（金）～１０月２７日（火）　重要文化財　太刀　銘　一（号姫鶴一文字）

「刀剣乱舞」（擬人化された刀剣の育成オンラインゲーム）に登場した五虎退などの、若い女性を中心とした人気の高まりに応える形で急遽開催した。多くの女性たちが訪れ、新たな来館者を獲得した。

２．教育普及事業

（１）教育事業

①プレイショップ

日本の年中行事の紹介や月ごとの造形体験を充実させ、多くの方に楽しんでいただいた。

配布資料の見易さへの配慮や、危険防止はもとより体験学習室全体の利用しやすい雰囲気づくりを常に心がけ、来館者の体験がより豊かになることを目指した。

年間のプレイショップ利用者数：　１３，１８０　名

②ワークショップ

ⅰ）募集制プログラム

夏休みの特別プログラム、大人向けの鑑賞プログラムなどに加えて、企画展関連や洛中洛外図屏風の原本展示にあわせたプログラムも展開し、展示の内容に深みを加えることができた。

活動１１年目を迎えたチルドレンキュレーターズ（こども学芸員）は、「戦後７０年―戦争の記憶をみつけてポートフォリオをつくる―」をテーマに、１つの事柄を調査しその結果をまとめる博物館の根幹業務を年間通して体験した。（年間２３プログラム実施、参加者２５９名）

ⅱ）自由参加制プログラム

開館以来プレイショップで展開している「日本の手わざ」から“つつむ”、“むすぶ”を取り上げ、自然素材で食べ物を包む「笹巻きづくり」を開催した。毎年好評のプログラムとして定着している。また、伝国の杜サポーター・米沢とんとむかしの会の協力による「むかしむかしをきこう」、愛のかぶと折紙ボランティア会の協力による「変わりかぶとに挑戦」も開催した。（年間７プログラム実施、参加者２４０名）

年間のワークショップ参加者数：４９９名

③講演会・講座の開催

２事業の講演会を開催した。詳細は下記のとおり。

◇講演会

特別展「国持大名上杉家」

平成２７年　４月２６日（日）１４：００～１６：００

「米沢藩上杉氏の官位と家格」　堀新氏（共立女子大学教授）

特別展「米沢藩医家の系譜」

平成２７年　９月１９日（土）１４：００～１６：００

「シーボルトと伊東昇迪」　織田毅氏（シーボルト記念館館長）

平成２７年１１月　７日（土）１４：００～１６：００

「好生堂と米沢藩の医学教育」　海原亮氏（住友史料館主任研究員）

④地域・学校との連携

◇学校状況のリサーチ（年間計画、公開研など）を行った。

◇ミュージアムスクールや出前授業・ワークショップを展開した。総合学習、社会科見学、美術科、社会科などで連携授業を展開した。

・施設利用・見学

年間４５件、４,０３８名　受入

・ミュージアムスクール（学校側が来館し、学芸員が授業に参加したもの）

年間１２件、３０８名　受入

・出前授業(博物館側が学校へ資料を持って出向くもの)

年間１３件、１,２０１名　受入

◇学校への各事業周知を徹底しホームページの充実につとめた。

◇チャレンジウィーク・インターンシップを受け入れた。

年間２件（米沢市内中学生、山形大学生）、２０名　受入

◇博物館実習を受け入れた。

１大学　　６名　受入（期間：　８月２４日（月）～　８月２９日（土）　）

⑤ギャラリートーク・コレクショントーク

◇ギャラリートーク

特別展・企画展・コレクション展にあわせたギャラリートークを年間１５回開催した。内容は下記のとおり。

【国持大名展】主任学芸員　阿部　哲人

平成２７年　４月１８日（土）１４：００　　５月１７日（日）１４：００

５月２３日（土）１４：００　　６月２０日（土）１４：００

【昭和幻風景】ジオラマ作家　山本高樹氏　　学芸主査　花田美穂

平成２７年　７月２５日（土）１４：００　　７月２６日（日）１４：００

「忘れてはいけないこと　戦後７０年・戦後９０年

昭和幻風景のみどころ」

【医家の系譜展】学芸主査　角屋由美子

平成２７年１０月１０日（土）１４：００　角屋由美子「上杉鷹山の医学奨励」

１０月１７日（土）１４：００　北村正敏氏（米沢市立病院副院長）

「堀内素堂『幼幼精義』の出版」

１０月２４日（土）１４：００　渡辺理絵氏（山形大学准教授）

「天然痘との闘い」

１１月１４日（土）１４：００　角屋由美子「米沢藩、医学の興隆」

【浜田浜雄展】主任学芸員　遠藤友紀

平成２７年１２月　５日（土）１４：００　「展覧会の見どころ解説」

平成２８年　１月１６日（土）１４：００　「展覧会の見どころ解説」

【上杉家の古写真展】

学芸主査　角屋由美子（２月２０日）、学芸員　佐藤正三郎（２月６日、３月１２日）

平成２８年　２月　６日（土）１４：００　「展覧会のみどころ」

２月２０日（土）１４：００　「明治を生きた上杉家の女たち」

３月１２日（土）１４：００　「古写真と上杉伯爵邸」※伯爵邸ツアー有

◇コレクショントーク

「国宝『上杉家文書』にみる幕末の米沢藩」を年間テーマとした上杉文華館の展示内容について、国宝上杉家文書をはじめ、古文書等の資料とともに紹介するコレクショントークを年間１２回開催した。

内容は下記のとおり。

［1］　平成２７年　４月　４日（土）「上杉鷹山亡き後は…」

［2］　平成２７年　５月　９日（土）「天保の飢饉」

［3］　平成２７年　５月３０日（土）「歌詠む心」

［4］　平成２７年　６月２８日（日）「１２代藩主上杉斉憲」

［5］　平成２７年　７月２６日（日）「軍制改革」

［6］　平成２７年　８月２９日（土）「文久三年、京都へ」

［7］　平成２７年　９月２６日（土）「京都を守る」

［8］　平成２７年１０月３１日（土）「幕府と朝廷の間で」

［9］　平成２７年１１月２８日（土）「幕府の要請」

［１０］平成２７年１２月２３日（水・祝）「戊辰戦争と奥羽越列藩同盟」

［１１］平成２８年　１月３０日（土）「戊辰戦争の終結」

［１２］平成２８年　３月　５日（土）「明治政府のもとで」

※　解説は学芸員　佐藤正三郎。開催はいずれも１４：００から。

⑥情報ライブラリーの展開と更新

企画展に関する書籍のコーナーを設置し、蔵書の充実とともに書籍の配架の工夫など、閲覧者の利便性に配慮した。各種レファレンスに回答し来館者サービスを推進した。

蔵書の点検と整理作業を行い、書庫の整備につとめた。

新規映像ソフト「上杉氏のルーツ６　上杉憲政から謙信へ」を製作し、情報検索装置「おきたま玉手箱」に配備した。

⑦特別利用・掲載利用・資料貸与

米沢市上杉博物館管理条例に基づき、迅速かつ正確に申請の収受、許諾業務を行った。

特別利用の受付と対応	３７　件
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理	４４８　件
資料貸出の受付と対応	２８　件
寄託資料の一時持出し対応	０　件
市保有近現代美術作品入替作業の出納立合い	１　回

⑧レファレンス

各種レファレンスに回答し、来館者サービスを推進した。

新規受入図書資料数		１，２７１　冊
各種レファレンスの対応	調査を要するもの	６３　件
	来館者・電話によるもの	多数

（２）普及事業《広報活動と快適性の充実》

①出版

施設の事業活動に関する書籍・冊子を発行し、協力者や市民に対するＰＲ活動を行った。

◇展覧会図録を刊行した。

特別展『国持大名上杉家』（１，０００冊）

特別展『米沢藩医家の系譜』（１，０００冊）

企画展『生誕１００年　浜田浜雄　造形の遊戯場』（５００冊）

◇平成２６年度米沢市上杉博物館年報を発行した（５００冊）。

◇「伝国の杜だより」を年間２回発行した（Ｖｏｌ.２８、２９）。

②事業告知活動

広告予算を使った有料媒体のほか、費用のかからない無料媒体を活用し、当財団事業および施設に関するＰＲ活動を行い、入館者の増加を図った。

◇有料、無料の広告媒体を使ってのＰＲ活動を行った。

◇ホームページ等ＷＥＢ媒体を使ってのＰＲ活動および収蔵品の紹介を行った。

◇チラシ、ポスター等の媒体を使ってのＰＲ活動を行った。

◇近隣施設等への直接持参によるＰＲ活動を行った。

③評価の実施と分析

各事業について内部評価を実施し事業総括に反映させた。また、伝国の杜運営協議会委員による外部評価も実施した。

◇評価基準の検討および内部・外部評価の実施

◇来館者アンケートの実施と反映

④スタッフの育成

定期的に勉強会・講習会を実施し、事業運営における職員のスキルアップを図った。また、来館者対応については、防災訓練や展覧会ごとの展示説明会を実施したほか、心肺蘇生法およびＡＥＤ使用法に関する救急処置実施講習会に参加し資質の向上に努めた。また、分野ごとの業務の遂行に関する指導等を行った。

◇定期的な勉強会や研修会の実施。

◇新規採用者の研修。

３．資料収集・調査・整理・保管業務

（１）資料調査事業

①歴史関連資料

上杉氏および米沢藩関連資料の調査を行った。

資料収集に伴う調査を行った。

②美術関連資料

置賜ゆかりの作家について継続的に調査を行った。

資料収集に伴う調査を行った。

（２）資料収集事業

米沢市の資料収集基本方針に基づき、館蔵資料の充実をはかるために資料・作品の収集活動を行った。

新規受入資料数　：２１６件（約３，０００点）

資料収集検討会議：平成２８年　２月２３日（火）、平成２８年　３月１０日（火）

資料収集委員会　：平成２７年　８月１０日（月）

（３）資料整理・保管事業

①資料管理データベースに関する作業

市立米沢図書館郷土資料と当館資料の一元化管理のためのデータベース構築を行った。

新規受入資料の登録、画像データベースとのリンク構築などを継続して行った。

登録済み資料の画像リンクやラベルプリントなど資料と直結した管理を強化した。

また、管理データベース全体の不具合部分の調整も行った。

公開に向けた準備として、解説ページの充実につとめた。

②館蔵資料の解読

・中条家文書

・上杉文書　幕末部分　ほか

③館蔵資料の写真撮影

新規受入資料、平成２７・２８年度開催展覧会出品資料の写真撮影を行った。

④上杉邦憲氏寄託資料整理

資料の整理および外箱のクリーニングを行った。

写真約９５０点の整理とデジタル化を行った。

⑤館蔵資料の修理

◇歴史資料の修理等

・上杉謙信書状・上杉景虎書状　　１幅

１幅に２通あわせて仕立てられていた文書を１点ずつ掛軸に表装し直した。

それぞれ表装を新調し、桐箱および桐の太巻を付けた。

・上杉鷹山書「思無邪」　　１幅

本紙を修補し表具を新調（太巻軸装）して桐箱に保存。桐箱の新調。

・中条筑後宛三谷三九郎書状　　１幅
　桐箱を新調して保存。
・米沢城本丸図　　１幅
　桐箱を新調して保存。

◇美術資料の修理

・椿貞雄「自画像」油彩・キャンバス　１９１５年　１点
　絵具の剥落を止め、キャンバスのゆがみを補正した。剥落面積が多いことから補彩はせず。
・阿部誠「バスの中で」木彫　１９８０年　のうちの椅子部分　　１点
　バスの椅子を表現した木彫の鉄枠の腐食、木部各所の割れなどから椅子としての形状を保つことができなくなっていたため、鉄部分の入替、補修、木部の補填を行うと同時に燻蒸と殺菌を行い木部の保存を図った。

⑥収蔵・展示区域の環境対策について

生物被害を未然に防ぐＩＰＭ（総合的有害生物管理）を年間通して取り組んだ。

・エリア区分による段階的管理
・粘着トラップの設置
・展示ケース内アートソープ入替え
・蔵の清掃
・空気環境調査
・一般、特別収蔵庫のクリーニング
・毎月の定期清掃
・害虫の防除
・定期的な温湿度測定
・作品のクリーニング
・新収蔵資料の燻蒸

４．置賜文化ホール自主事業

（１）米沢市事業

米沢市から置賜文化ホール自主事業共催負担金を受け、以下の事業を実施した。市民の芸術文化活動を支援し、また身近な文化施設として利用の促進につながるよう、博物館事業とも連携しながら公演を開催した。

①戦後７０年記念米沢市平和都市宣言事業「奇跡の歌姫『渡辺はま子』米沢公演」

公演日時：平成２７年　６月２７日（土）１３：３０開演／１８：３０開演

入場者数：１，０７５名

戦後、フィリピン捕虜の帰国に尽力した歌手「渡辺はま子」の実話をもとにした演劇で、おしょうしな観光大使の女優五大路子の主演。神奈川・新潟・山形各県の６都市を巡回するため、当財団が代表して文化庁文化芸術振興費補助金の活用手続きを行った。

②山形交響楽団ユアタウンコンサート　米沢公演

公演日時：平成２７年　７月２６日（日）　１６：００開演

入場者数：２２８名

様々なコンクールで輝かしい成績を残している若手ヴァイオリニスト長尾春花をソリストに招き、山形交響楽団のコンサートを行った。様々なヴァイオリンの技巧を鑑賞し、一流の音楽を堪能することができたが大きな集客に結びつけることができなかった。

③おきたまの秋空に響け！吹奏楽の日コンサート２０１５

共　　催：置賜地区吹奏楽連盟

公演日時：平成２７年１０月　４日（日）　１０：００開演

入場者数：１，４２６名

ホールと屋外特設ステージの２会場でコンサートを同時進行する「置賜方式」による恒例のコンサートを開催した。各吹奏楽団体と協力して大きな混乱もなく進行できた。今後も引き続き、置賜の吹奏楽事情を一般の方に知ってもらう機会としていきたい。

④伝国の杜新春寄席　林家木久蔵・三遊亭王楽二人会

公演日時：平成２８年　１月　９日（土）　１４：００開演

入場者数：２６８名

人気テレビ番組『笑点』でおなじみの林家木久扇・三遊亭好楽の息子であり、同じく『笑点』の若手大喜利のコーナーなどで人気を博した林家木久蔵・三遊亭王楽の２人による落語会を開催した。当日は落語だけでなく、太神楽の曲芸や出演者全員による大喜利も披露するなど、新春寄席にふさわしい賑やかな内容となったが、集客につながるような広報ができなかった。

⑤二兎社公演４０　「書く女」

公演日時：平成２８年　２月　９日（火）　１８：３０開演

入場者数：４８４名

人気俳優の黒木華や平岳大、木野花らを起用した永井愛作・演出の演劇公演。文化庁文化芸術振興費補助金と、東北から九州まで広範にわたる劇場のネットワークを活用できた。樋口一葉の恋と創作活動に費やした半生を舞台化した内容で、注目度、評価とも高かった。

⑥避難訓練コンサート

公演日時：平成２８年　３月１２日（土）　１７：３０開演

参加者数：１６２名

公演中の地震発生に備え避難訓練を取り入れた、客席参加型のコンサートを初めて開催した。県内の各劇場スタッフや伝国の杜サポーターにも参加を呼び掛けたが、参加人数は不足した。一方で、速やかな避難誘導を実施でき、新たな課題に気づく契機を得た。

⑦市民ミュージカル育成事業

活動回数：平成２７年　４月～平成２８年　３月まで計１２回

参加者数：２５名

地域住民がより質の高い舞台芸術活動に携わることができるよう、市民ミュージカル劇団に対し、プロの指導と監修によるレッスン体制づくりを支援した。

定期的に発声、ダンスの指導者を派遣し、舞台づくりのレベル向上に貢献した。

（２）山形県事業

山形県から置賜文化ホール事業費補助金を受け、以下の事業を実施した。「文化の薫り高い置賜の創造」を掲げる置賜地域の中核文化施設として定着していくことを目指し、施設の機能強化を図りながら実施した。

◇地域文化力育成事業

地域住民の芸術文化活動支援のため、置賜在住および出身者への公演機会の提供とともにＰＲ活動を行い、施設の賑わいと利用のきっかけづくりを行った。

①Jazz Café Live　～横澤徹カルテット～

公演日時：平成２７年　６月　６日（土）　１９：００開演

入場者数：１１４名

山形や仙台で活躍するサキソフォン奏者、横澤徹をリーダーにプロのジャズ奏者たちによる演奏を楽しんだ。ミュージアムカフェを彩る華やかな企画ではあるが、定員を超えて多くの来場者があったため、客席環境の改善に取り組み、今後も継続していきたい。

②Jazz Café Live　～大村武司トリオ＆菊池由梨～

公演日時：平成２７年１０月　７日（水）　１９：００開演

入場者数：８８名

人気ジャズピアニスト大村武司のトリオと、初参加となるフルーティスト菊池由梨によるセッションを鑑賞。カフェライブを恒例化するため取り組んだセット券販売は、新たなリピーター層につながるなど、好評だった。

③Jazz Café Live　～斎藤栞＆EIM～

公演日時：平成２７年１１月　４日（水）　１９：００開演

入場者数：１０２名

東北を拠点とする人気女性ヴォーカリスト、斎藤栞をメインに迎え、信頼を寄せ合うメンバーとのジャズライブを開催。主にスタンダード・ジャズナンバーと、ポップスから人気の曲を、解説つきで聴くことができた。

④親子でたのしむ音楽会

公演日時：平成２８年　３月　６日（日）　１４：００開演

入場者数：５３５名

米沢市出身でプロのバレエダンサー片平成美に企画段階から協力を依頼し、シリーズで初めてクラシックバレエを紹介。レッスン体験コーナーでは、客席や舞台上で子どもたちが一緒に体験できるよう工夫をし、盛況だった。伝国の杜オーケストラとの共演にも満席の来場者から大きな拍手を得た。

◇能楽関係事業

施設の特長をいかし、藩政時代より現代に継承されてきた能楽の普及を図った。一方でこども狂言の育成に取り組み、地域に活動を紹介することでも能楽振興に貢献した。

①風の香狂言会ｉｎ置賜

公演日時：平成２７年　５月１７日（日）　１４：００開演

入場者数：１８０名

米沢市内の全中学生にプロの狂言を鑑賞してもらい、伝統文化に親しみを持てるようにと、野村万蔵率いる萬狂言一門による芸術鑑賞教室事業にホールとして初めて協力した。学校行事で鑑賞した感動を家庭に持ち帰り、一般公演にも来場してもらう取り組みだったが、部活動の多忙な時期と重なり来場できないなど課題を残した。

②平成２７年度山形県能楽の祭典

共　　催：（社）山形県能楽協会

公演日時：平成２７年　９月１３日（日）　９：３０開演

入場者数：１１１名

県内各地から能楽愛好者が集い、謡曲・仕舞を披露し交流を深めた。伝国の杜こども狂言クラブは和泉流狂言と小舞を遠方からの参加者にも披露することができ、米沢の普及活動をアピールすることができた。

③伝国の杜こども狂言クラブ

稽　　古：平成２７年４月から２８年３月まで３４回開催

発　　表：平成２７年５月から２８年３月まで８回出演（館内５回、外３回）５月、７月、９月、１０月、１１月、２月、３月

参加者数：１０名

未就学児があらたに参加したことから、狂言師の指導内容を保護者とともに復習できるよう復習稽古の仕組みづくりに取り組んだ。また、米沢市内団体のイベントへの出演や、酒田の公演への出演による他団体との交流など、狂言クラブの活動の場を広げ周知することができた。

５．米沢市座の文化伝承館自主事業

① 米沢市上杉博物館企画展「生誕１００年　浜田浜雄―造形の遊技場―」プレ事業「シュルレアリスト浜田浜雄の貴重書コレクション」展示

会　　期：平成２７年　９月１６日（水）～　９月２８日（月）

開催日数：１２日間

入館者数：２５８名

『本』という切り口から浜田浜雄の思考の世界を感じてもらうことができた。生誕１００年展への導入としての反応は良好だった。蔵という落ちつく場所は『本』の展示には最適だった。また、貴重書を手に取ってページをめくることができて来館者の満足度が高かった。浜田ＰＶ（浜田旧蔵のレコードをデジタル化し、浜田の作品ＰＶのＢＧＭとして使用）も好評だった。

②第２５回市民茶会

開 催 日：平成２７年　６月２１日（日）　１０：３０～１５：００

参加者数：２２１名

初心者を含む一般市民に抹茶や菓子をふるまい、日本の伝統「茶道」の普及に取り組んだ。各地域のコミュニティセンターで稽古する子どもたちも来場して大寄せの茶会を楽しむ一方、観光旅行客や国際交流事業の留学生など、伝統の茶道を幅広い方々がともに触れる機会を提供することができた。

③座ってたのしむ小さなステージｖｏｌ.９「蔵で一席！　落語の会」

開 催 日：平成２７年１０月１１日（日）

第1回１３：００～、第2回１５：００～

来場者数：合計３４名

蔵を活用して米沢市で活動している市民落語の会「落語長屋」に依頼し、落語の会を開催した。木造空間の中で、素人落語のコンクールにも入選するほどの実力をほこる出演者の実演を楽しんだ。しかし、天候の影響で入場者を確保することがむずかしかった。

６．芸術文化活動のための施設貸与事業（米沢市座の文化伝承館）

米沢市から指定管理事業として受託する米沢市座の文化伝承館の貸出業務は、貸出基準に照らし適正に貸与した。また、利用者のニーズを把握し、利用促進に努めた。施設の利用の促進が地域文化の底上げにつながることから、施設情報のＰＲに努めた。

平成２７年度の利用者数は以下のとおりであった。

利用件数：　　３６２件

利用者数：４，６７５名

７．伝国の杜サポーター運営事業

インフォメーション、教育普及、レセプショニストについては、年間を通して各分野で活動を行った。また、平成２６年度からスタートした「洛中洛外図案内人」活動を今年度も継続して実施した。

特殊技能部門のとんと昔の会は年間５回の自由参加制ワークショップ「むかしむかしをきこう」での語り、また、ミュージアムアシスタントティーチャーズ（置賜地域の教員サポーター）は博物館の授業利用の促進の面で尽力いただいた。

また、市民のボランティア活動の円滑化を目的に、「伝国の杜サポーターの活動に関する要綱」を設定した（平成２８年４月１日適用）。

Ⅱ　収益等事業１
ミュージアムショップ事業

◇来館者にとって魅力あるショップを目指し、日常の業務を適正に行った。
◇展覧会会期中の販売品目の選定、陳列など、時宜に応じた運営を行った。
◇来館者のニーズに対するマーケティングリサーチを行い、地元企業などとの連携を図りながら新規商品の開発について検討した。
◇より広範囲への商品販売と施設の告知を狙いインターネットでの販売を継続した。
◇オリジナル商品に関する開発等の実績

・新規商品　　７商品
（刀剣ポスター　２種、刀剣ポストカード　２種、フラットバック　２種、ブックカバー　等）
・再販商品　　６商品
（国宝上杉本洛中洛外図屏風金地クリアファイル、なせばなる手拭い、マグネット　等）

Ⅲ　収益等事業２
施設貸与事業

米沢市から指定管理事業として受託する米沢市上杉博物館会議室の貸出業務について、貸出基準に照らし適正に貸与した。また、利用者のニーズを把握し、利用促進に努めた。

平成２７年度の利用者数は以下のとおりであった。

利用件数：　　３５５件
利用者数：１１，０５６人

Ⅳ　収益等事業３
伝国の杜ファンクラブ事業

平成２７年度の入会者数は以下のとおりであった。

会員数：３００名

内　訳：一般　２６９名、学生　１２名、ジュニア　１９名

会員に対しては下記の事業を行った。

◇会報及び財団自主事業情報の送付

◇米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与

◇置賜文化ホール主催事業の先行予約・割引販売（一部公演除く）

◇ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の１０％割引販売

◇ファンクラブ会員限定事業の開催

①「おとな狂言教室」

日　　時：平成２７年　５月１５日（金）　　１６：００～

参加者数：２名

②「ご近所再発見のミニツアー＆交流会」

日　　時：平成２７年１０月１８日（日）　　９：３０～

参加者数：２２名

また、今年度はファンクラブ設立以来初めて会員数が３００名に達した。引き続き、会員数増加に向けた告知活動を行っていく。

Ⅴ　管理部門

平成２８年度から平成３２年度までの５年間、米沢市座の文化伝承館の指定管理者として指定を受けた。また、平成２８年度からの市立米沢図書館等の指定管理に向けた準備を行った。

公益財団法人米沢上杉文化振興財団管理運営に関する会議について、理事会を３回（通常理事会を２回、臨時理事会を１回)、評議員会を１回（定時)、また、理事・評議員合同役員会を１回行った。さらに、米沢市上杉博物館と置賜文化ホール自主事業について、その事業等の質、来館者の利便性、利用率の向上等を達成するために、第三者から幅広い意見を得る場である伝国の杜運営協議会を年２回開催し、委員からは管理・事業運営全般にわたり様々な意見が出された。

【理事会】

①公益財団法人米沢上杉文化振興財団　通常理事会

開催日時　平成２７年　５月２３日（土）　１３：００～

開催場所　伝国の杜大会議室

議事

第１号議案　平成２６年度　事業報告並びに附属明細書の承認について

第２号議案　平成２６年度　計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について

第３号議案　定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
第４号議案　定時評議員会に提出する理事の補欠候補者名簿について
第５号議案　定時評議員会に提出する評議員の補欠候補者名簿について
第６号議案　顧問の選任について理事・評議員合同役員会次第
（報告事項）
報告第１号　平成２７年３月２４日理事会以降の職務執行状況について

②公益財団法人米沢上杉文化振興財団　臨時理事会
開催日時　平成２７年　６月１３日（土）　１６：３０～
開催場所　伝国の杜大会議室
議事
第１号議案　常務理事の選定について

③公益財団法人米沢上杉文化振興財団　通常理事会
開催日時　平成２８年　３月２４日（木）　１５：００～
開催場所　伝国の杜小会議室
議事
第１号議案　公益財団法人認定の変更届について
第２号議案　平成２８年度事業計画書（案）の承認について
第３号議案　平成２８年度収支予算書（案）の承認について
第４号議案　平成２８年度公益財団法人米沢上杉文化振興財団事務局組織（案）について
第５号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
組織規程の一部を改正する規定について
第６号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
事務決済規定の一部を改正する規定について
第７号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
文書管理規定の一部を改正する規定について
第８号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
就業規定の一部を改正する規定について
第９号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
職員給与規定の一部を改正する規定について
第１０号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
財務規定の一部を改正する規定について
第１１号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
育児・介護休業規定の一部を改正する規定について
第１２号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
臨時職員就業規定の一部を改正する規定について
第１３号議案　公益財団法人米沢上杉文化振興財団
臨時職員育児・介護休業規定の一部を改正する規定について

（報告事項）
報告第１号　平成２７年５月２３日通常理事会以降の職務執行状況について

【定時評議員会】
公益財団法人米沢上杉文化振興財団　定時評議委員会
開催日時　平成２７年　６月１３日（土）　１５：００～
開催場所　伝国の杜大会議室
議事
第１号議案　平成２６年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について
第２号議案　理事の補欠選任について
第３号議案　評議員の補欠選任について
（報告事項）
報告第１号　平成２６年度事業報告並びに附属明細書の同意について

【理事・評議員合同役員会】
公益財団法人米沢上杉文化振興財団　理事・評議員合同役員会
開催日時　平成２７年　６月１３日（土）　臨時理事会終了後
開催場所　伝国の杜大会議室

【運営協議会】
①第１回伝国の杜運営協議会
開催日時　平成２７年　７月１６日（木）１０：００～
開催場所　伝国の杜小会議室
議事
１．伝国の杜運営状況について（報告）
２．青少年の利用拡大方策について
３．伝国の杜のおもてなし姿勢について
４．その他

②第２回伝国の杜運営協議会
開催日時　平成２７年１２月　９日（水）１０：００～
開催場所　伝国の杜小会議室
議事
１．第１回伝国の杜運営協議会の意見要望に対する取り組みについて
２．平成２７年度事業評価について
３．平成２８年度米沢市上杉博物館・置賜文化ホールの開催予定事業について
４．その他